



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3302S		
科目名	国際関係論		
担当教員	中村 長史		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	水 4		
講義室	1206	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（60%） I1 理解・分析と読解（20%） I2 量的分析（20%） I3 情報分析（20%）		
教員の実務経験	教員自身に実務経験はありませんが、外務省や内閣府、海上自衛隊からの委託で実務家の人々と共同で政策に関わる研究をしてきた経験を活かして講義を行います（第6回、第7回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	現代社会を生きるうえで、国内状況のみならず、日々めまぐるしく変動する国際社会の基本構造を理解することは不可欠です。本講義では、世界情勢の現状と課題を理解するための基盤となる国際関係論の基礎的な概念・理論を修得することを目的とします。国際関係におけるアクター、国益と外交、国家間関係を規律する国際法、国連などの国際機関、安全保障と戦争と平和、地球環境問題などについて、国際社会が抱える様々な課題や危機を素材としつつ学修します。そのうえで、複雑な現代国際社会の動向を正確に捉え、その事象を論理的に読み解く力を身に付けることを目指します。授業は講義により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 国際社会・外交・国連・北朝鮮核開発問題・捕鯨問題		
授業の趣旨	■副題 国際関係論の基本的な概念を理解したうえで、それを踏まえて今日の国際社会における様々な問題・事象について解決法を探ります。 ■授業の目的 本講義は、国際関係論という学問をとおり、今日の国際社会における様々な問題・事象を理解し、その解決法を探ることを目的とします。 ■授業のポイント 国際社会で生じる問題は、自然現象ではなく社会現象である以上、一人一人の力によってわずかながらでも良くすることもできますし、さらに悪くしてしまうこともあります。国際関係論の授業を受ける皆さんには、この点を意識し、自分の頭で国際問題の解決策を考えられるよ		

	うになってほしいと考えています。そこで、この講義では、国際問題を「諸国家・諸国民の共存」を脅かすものと「諸国家・諸国民の協力」を脅かすものとに便宜的に分けて学んでいきます。具体的には、まず北朝鮮核開発問題（共存を脅かす）と捕鯨問題（協力を脅かす）という現在進行形の事例について、その「構図（What）」、「原因（Why）」、「解決策（How to do）」を考えてみます。次に、過去の事例を確認しながら、国際関係論の基礎的な概念を学びます。最後に、これらの概念や過去の事例を踏まえて、北朝鮮核開発問題と捕鯨問題について再び考えます。								
総合到達目標	■国際関係論に関する基礎知識を修得する。 ・国際関係論を学ぶうえで重要な基礎的事項について説明できる。（第1回～第3回） ・現実が発生している多様な国際問題について、国際関係論の分析視点から説明することができる。（第4回～第15回） ・国際社会における日本の位置づけ・役割について、考察し、自らの考えを説明することができる。（第2回、第4回～第7回、第9回～第14回）								
成績評価方法	■リアクションペーパー、授業内容に関するミニテスト 3～5回（授業の実施形態によっては、回数が変更となる可能性があります）（20%）：適用ルーブリック E1、I1（評価の観点）授業の内容を踏まえ、自ら考え理解しようとしているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）次の回の授業において解説をします。 ■中間テスト 1回（30%）：適用ルーブリック E1、I1、I3（評価の観点）授業の内容について理解し、自らの言葉で説明することができるかを評価します。 （フィードバックの方法）：提出後、解説を行います。 ■まとめのテスト 1回（50%）：適用ルーブリック E1、I1、I3（評価の観点）授業の内容について理解し、自らの言葉で説明することができるかを評価します。 （フィードバックの方法）提出後、解説を行います。								
履修条件	特にありません。国際関係論について基本的な事項から説明しますので、予備知識は不要です。高校で世界史を選択していない場合でも問題ありません。								
履修上の注意点	授業中の私語は厳禁とします。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。最近の時事問題について関心のあるものをピックアップする。 ④復習（150分） 講義ノートを見直し、授業の狙いや内容などについて確認する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 北朝鮮核開発問題と捕鯨問題（1） ②授業概要 北朝鮮核開発問題と捕鯨問題の構図について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 北朝鮮核開発や捕鯨に関して何が問題となっているのかを新聞記事等を検索して調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、北朝鮮核開発問題と捕鯨問題の構図について確認し、自らの言葉でまとめる。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 現実主義と理想主義、リアリズムとリベラリズム ②授業概要 国際関係論の基本的理論である現実主義と理想主義、リアリズムとリベラリズムについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 「現実主義」や「理想主義」、「リアリズム」、「リベラリズム」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分） </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。最近の時事問題について関心のあるものをピックアップする。 ④復習（150分） 講義ノートを見直し、授業の狙いや内容などについて確認する。	2	①授業テーマ 北朝鮮核開発問題と捕鯨問題（1） ②授業概要 北朝鮮核開発問題と捕鯨問題の構図について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 北朝鮮核開発や捕鯨に関して何が問題となっているのかを新聞記事等を検索して調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、北朝鮮核開発問題と捕鯨問題の構図について確認し、自らの言葉でまとめる。	3	①授業テーマ 現実主義と理想主義、リアリズムとリベラリズム ②授業概要 国際関係論の基本的理論である現実主義と理想主義、リアリズムとリベラリズムについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 「現実主義」や「理想主義」、「リアリズム」、「リベラリズム」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分）
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の狙いと内容、授業計画、成績評価、参考文献、受講の際の留意点などに関する説明をとおし、授業の全体的な概要を理解する（E1）。 ③予習（90分） シラバスの内容を確認する。最近の時事問題について関心のあるものをピックアップする。 ④復習（150分） 講義ノートを見直し、授業の狙いや内容などについて確認する。								
2	①授業テーマ 北朝鮮核開発問題と捕鯨問題（1） ②授業概要 北朝鮮核開発問題と捕鯨問題の構図について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 北朝鮮核開発や捕鯨に関して何が問題となっているのかを新聞記事等を検索して調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、北朝鮮核開発問題と捕鯨問題の構図について確認し、自らの言葉でまとめる。								
3	①授業テーマ 現実主義と理想主義、リアリズムとリベラリズム ②授業概要 国際関係論の基本的理論である現実主義と理想主義、リアリズムとリベラリズムについて説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 「現実主義」や「理想主義」、「リアリズム」、「リベラリズム」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分）								

	講義ノートを見直し、現実主義と理想主義、リアリズムとリベラリズムの異同について確認し、自らの言葉でまとめる。
4	①授業テーマ 民主的平和と商業的平和 ②授業概要 共存のための方法の一つである民主的平和論と商業的平和論について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 近年の民主化や貿易の傾向について新聞記事等を検索して調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、民主的平和論と商業的平和論の意義や課題について確認し、自らの言葉でまとめる。
5	①授業テーマ 強制外交と安心供与外交 ②授業概要 共存のための方法の一つである強制外交と安心供与外交について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 「強制」や「安心供与」に関する自身のイメージについて考えてみる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、強制と安心供与とを組み合わせる意義と困難さについて確認し、自らの言葉でまとめる。
6	①授業テーマ 勢力均衡と同盟 ②授業概要 共存のための方法の一つである勢力均衡と同盟について説明できるようになる（E1、I1、I3）。教員の委託共同研究の経験を踏まえて講義します。 ③予習（120分） 同盟の例を調べて挙げてくる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、勢力均衡と同盟の意義や課題について確認し、自らの言葉でまとめる。
7	①授業テーマ 軍縮と軍備管理 ②授業概要 共存のための方法の一つである軍縮と軍備管理について説明できるようになる（E1、I1、I3）。教員の委託共同研究の経験を踏まえて講義します。 ③予習（120分） 軍縮や軍備管理の例を調べて挙げてくる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、軍縮と軍備管理の意義や困難さについて確認し、自らの言葉でまとめる。
8	①授業テーマ 中間テストと解説 ②授業概要 これまでの授業での学習を総括し、中間テストおよびその解説を行う（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） これまでの講義ノート全体を見直し、不明な点等がないか確認する。 ④復習（120分） これまでの講義と中間テストを振り返り、理解不足の箇所がある場合には十分に復習する。
9	①授業テーマ 水産資源の国際共同管理 ②授業概要 協力のための方法の一つである水産資源の国際共同管理について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 水産資源をめぐる国家間の対立が生じている例を新聞記事等を検索して調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、水産資源の国際共同管理の意義や困難さについて確認し、自らの言葉でまとめる。

	10	①授業テーマ 開発援助 ②授業概要 協力のための方法の一つである開発援助について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 開発援助に関わるアクターを新聞記事棟を検索して調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、開発援助の意義や困難さについて確認し、自らの言葉でまとめる。
	11	①授業テーマ 通商 ②授業概要 協力のための方法の一つである通商について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 通商に関わるアクターを新聞記事棟を検索して調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、通商の意義や困難さについて確認し、自らの言葉でまとめる。
	12	①授業テーマ 環境保護 ②授業概要 協力のための方法の一つである環境保護について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 環境保護に関わるアクターを新聞記事棟を検索して調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、環境保護の意義や困難さについて確認し、自らの言葉でまとめる。
	13	①授業テーマ 難民保護 ②授業概要 協力のための方法の一つである難民保護について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 難民保護に関わるアクターを新聞記事棟を検索して調べる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、難民保護の意義や困難さについて確認し、自らの言葉でまとめる。
	14	①授業テーマ 北朝鮮核開発問題と捕鯨問題（2） ②授業概要 北朝鮮核開発問題と捕鯨問題の構図に加えて原因や解決策について説明できるようになる（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） 北朝鮮核開発や捕鯨に関して何が原因で問題となっているのかを考えてくる。 ④復習（120分） 講義ノートを見直し、北朝鮮核開発問題と捕鯨問題の原因や解決策について確認し、自らの言葉でまとめる。
	15	①授業テーマ まとめと授業内試験、解説（授業の実施形態によっては、まとめのレポートに変更） ②授業概要 これまでの14回の授業での学習を総括し、国際関係論に関するまとめの考察と授業内試験、解説を行う（E1、I1、I3）。 ③予習（120分） これまでの講義ノート全体を見直し、不明な点等がないか確認する。 ④復習（120分） 講義全体を振り返り、今後の履修計画（国際関係論論の関連科目など）を検討する。
関連科目		国際政治学（RMGT3552）、国際法（RMGT3451）
教科書		開講時に指示します。
参考書・参考URL		初回授業および各回の授業において適宜紹介します。

連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に伝えます。 ■オフィスアワー 授業前後の時間に対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%；パブリックセキュリティ30%；グローバルセキュリティ50%；情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学とのバランス 法学30%：危機管理学70%

